



# aisc

2022K

「なにか×スパコン(SC)」というテーマを掲げることにより、その「なにか」の分野とスパコンの分野で新しい共同研究が生まれることを期待したシンポジウムです。様々な分野にコンピュータが利用されている現在では、スパコンセンターのあり方もこれまでとは変わる必要があります。そこで、これまでのスパコン利用者だけでなく、新しい分野にスパコンを使ってもらい、より良い成果やこれまでになかった成果の創出に繋がるきっかけ作りが必要となります。今回はその「なにか」を「群れ」とし、スパコンとは直接的に関係の無い「群れ」に関する研究を行っている研究者の方にご講演いただき、「SC」と「群れ」でお互いに何かできることは無いかを最後に議論し、新しい可能性を見つけ出します。

2022年9月1日[木] 13:30-18:15

場 所：ハイブリッド開催 ※現地参加が多数の場合、人数制限あり

現 地：京都大学 学術情報メディアセンター 北館4F 大会議室

オンライン：参加者にZoomアドレスを送付

申込URL：<https://forms.gle/m3JvcaKEkAaN5YvJ6>



- 13:30 - 13:40 ● はじめに  
深沢 圭一郎(京都大学学術情報メディアセンター 准教授)
- 13:40 - 14:25 ● 相互予期に基づく群れの自己組織化  
村上 久(京都工芸繊維大学情報工学・人間科学系 助教)
- 14:25 - 15:10 ● ドローンによる観察が明らかにするウマの重層社会  
前田 玉青(京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 博士後期課程、日本学術振興会 特別研究員DC1)
- 15:10 - 15:30 ● 休憩
- 15:30 - 16:15 ● 小型SAR衛星コンステレーションの運用概念  
上津原 正彦(株式会社QPS研究所 執行役員/開発部部长)
- 16:15 - 17:00 ● 動的モード分解による群れの運動分析  
高見 利也(大分大学理工学部 教授)
- 17:00 - 17:45 ● 総合討論
- 17:45 - 18:15 ● まとめ

シンポジウム

スーパーコンピュータに関する

群れと